

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年5月13日

上場会社名 住友精化株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4008 URL http://www.sumitomoseika.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 育三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理企画室長 (氏名) 町田 研一郎 (TEL) 06-6220-8515
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月7日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	103,254	3.6	10,101	29.9	10,375	51.1	7,119	66.1
2020年3月期	99,701	△9.1	7,775	△14.3	6,866	△20.5	4,285	609.1

(注) 包括利益 2021年3月期 10,140百万円(373.3%) 2020年3月期 2,142百万円(166.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	516.20	—	10.4	10.0	9.8
2020年3月期	310.74	—	6.7	6.7	7.8

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	107,834	75,491	67.5	5,278.02
2020年3月期	100,261	66,730	64.1	4,659.35

(参考) 自己資本 2021年3月期 72,794百万円 2020年3月期 64,262百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	16,251	△2,229	△3,264	25,266
2020年3月期	10,767	△3,838	△5,564	14,279

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00	1,379	32.2	2.2
2021年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00	1,379	19.4	2.0
2022年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00		27.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	109,000	5.6	7,000	△30.7	7,000	△32.5	5,000	△29.8	362.53

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－ : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	13,972,970株	2020年3月期	13,972,970株
② 期末自己株式数	2021年3月期	180,899株	2020年3月期	180,875株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	13,792,076株	2020年3月期	13,792,103株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
5. 2021年3月期 連結決算概要	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期の国内外の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、経済活動が大幅に縮小するなど、厳しい状況が続きました。

このような状況のもとで、当期の当社グループの売上高は1,032億5千4百万円（前期比3.6%増）、営業利益は101億1百万円（前期比29.9%増）、経常利益は103億7千5百万円（前期比51.1%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、一部の研究開発用資産に係る今後の稼働計画を勘案し、減損損失を7億3百万円計上したことなどにより、71億1千9百万円（前期比66.1%増）となりました。

また、1株当たり当期純利益は516.20円、ROEは10.4%となりました。

セグメント別業績の概要は次のとおりであります。

なお、当期より、経営管理方法の変更に伴い、従来「機能化学品」セグメントに含めていたセイカテクノサービス㈱を「その他」セグメントへ区分を変更しております。また、ガス製品の製造を終了し、機能化学品の製造へ向けた事業転換を進めている住精科技（揚州）有限公司についても、「ガス・エンジニアリング」セグメントから「その他」セグメントへ区分を変更しております。

また、前期のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

<吸水性樹脂セグメント>

当セグメントでは、売上高は692億1百万円（前期比5.0%増）、営業利益は58億3千7百万円（前期比64.7%増）と増収増益となりました。売上高は、中国顧客が衛生材料の原材料調達を優先する動きを拡大させたことなどにより販売数量が増加したため、増収となりました。営業利益は、販売数量の増加に加えて、原料価格の下落により増益となりました。

<機能化学品セグメント>

当セグメントでは、売上高は179億4千万円（前期比0.7%増）、営業利益は20億3千7百万円（前期比6.5%増）と増収増益となりました。これはラテックス製品や医薬中間体の販売数量が増加したことなどによるものであります。

<ガス・エンジニアリングセグメント>

当セグメントでは、売上高は156億1千2百万円（前期比1.9%増）、営業利益は22億7千6百万円（前期比3.4%減）と増収減益となりました。売上高については、エレクトロニクスガスなどの販売数量が増加したことにより増収となりましたが、営業利益については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、飲食店店舗における食品用ガスの需要が減少したことなどにより減益となりました。

<その他セグメント>

当社グループは上記事業のほか、人材派遣業務等を行っております。当セグメントでは、売上高は4億9千9百万円（前年同期比25.5%減）、営業損失は6千万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ75億7千3百万円増加し、1,078億3千4百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ11億8千7百万円減少し、323億4千3百万円となりました。これは主に買掛金が減少したことなどによるものです。純資産（非支配株主持分を含む）は、前連結会計年度末に比べ、87億6千万円増加し、754億9千1百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.4ポイント上昇し、67.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、109億8千7百万円増加し、252億6千6百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の営業活動による資金の増加は、162億5千1百万円（前期比54億8千4百万円の増加）となりました。主な内訳は、税金等調整前当期純利益が96億6千5百万円、減価償却費が52億8千万円、法人税等の支払額が16億1千3百万円などであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の投資活動による資金の減少は、22億2千9百万円（前期比16億8百万円の減少）となりました。主な内訳は、固定資産の取得による支出30億7千4百万円などであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の財務活動による資金の減少は、32億6千4百万円（前期比23億円の減少）となりました。主な内訳は、短期借入金の純増額が17億2千2百万円、配当金の支払による支出が13億8千万円などであります。

(4) 今後の見通し

2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響などにより、当社グループを取り巻く事業環境は不安定な状況が続いておりますが、為替相場を110円/米ドル、16.5円/人民元、国内ナフサ価格を47,000円/KLと想定し、以下のとおり予想しております。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
通 期	109,000	7,000	7,000	5,000

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,366	25,657
受取手形及び売掛金	23,208	24,217
商品及び製品	14,315	13,241
仕掛品	660	400
原材料及び貯蔵品	2,916	2,827
その他	2,982	1,829
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	59,440	68,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,599	29,313
減価償却累計額	△13,865	△14,838
建物及び構築物（純額）	14,733	14,474
機械装置及び運搬具	78,762	80,022
減価償却累計額	△63,282	△66,665
機械装置及び運搬具（純額）	15,479	13,357
土地	4,305	4,418
リース資産	6,293	6,938
減価償却累計額	△5,841	△6,305
リース資産（純額）	452	633
建設仮勘定	574	779
その他	5,495	5,807
減価償却累計額	△4,464	△4,695
その他（純額）	1,031	1,111
有形固定資産合計	36,576	34,775
無形固定資産		
ソフトウェア	261	225
その他	7	7
無形固定資産合計	268	233
投資その他の資産		
投資有価証券	1,043	1,517
退職給付に係る資産	954	1,618
繰延税金資産	994	584
その他	993	951
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	3,975	4,661
固定資産合計	40,820	39,670
資産合計	100,261	107,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,945	10,841
短期借入金	10,866	9,696
1年内返済予定の長期借入金	—	978
リース債務	114	120
未払法人税等	773	1,511
賞与引当金	852	851
役員賞与引当金	60	81
その他	3,132	3,370
流動負債合計	27,744	27,451
固定負債		
長期借入金	3,564	2,934
リース債務	308	363
繰延税金負債	79	86
退職給付に係る負債	1,833	1,508
固定負債合計	5,786	4,892
負債合計	33,530	32,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	7,539	7,539
利益剰余金	46,364	52,104
自己株式	△261	△261
株主資本合計	63,340	69,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	281	685
為替換算調整勘定	514	2,252
退職給付に係る調整累計額	125	776
その他の包括利益累計額合計	921	3,714
非支配株主持分	2,468	2,696
純資産合計	66,730	75,491
負債純資産合計	100,261	107,834

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	99,701	103,254
売上原価	77,316	78,078
売上総利益	22,384	25,176
販売費及び一般管理費		
発送運賃	3,555	4,313
従業員給料及び賞与	2,608	2,727
賞与引当金繰入額	350	368
退職給付費用	146	205
研究開発費	3,177	2,881
その他	4,771	4,578
販売費及び一般管理費合計	14,609	15,074
営業利益	7,775	10,101
営業外収益		
受取利息	198	84
受取配当金	52	49
為替差益	—	87
補助金収入	172	290
その他	80	73
営業外収益合計	503	584
営業外費用		
支払利息	225	255
為替差損	1,120	—
その他	67	55
営業外費用合計	1,412	310
経常利益	6,866	10,375
特別利益		
固定資産売却益	32	34
投資有価証券売却益	—	47
特別利益合計	32	81
特別損失		
固定資産除却損	284	88
減損損失	176	703
特別損失合計	461	791
税金等調整前当期純利益	6,437	9,665
法人税、住民税及び事業税	1,971	2,305
法人税等調整額	83	25
法人税等合計	2,055	2,331
当期純利益	4,382	7,334
非支配株主に帰属する当期純利益	97	214
親会社株主に帰属する当期純利益	4,285	7,119

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	4,382	7,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△334	404
為替換算調整勘定	△1,425	1,751
退職給付に係る調整額	△480	650
その他の包括利益合計	△2,240	2,805
包括利益	2,142	10,140
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,103	9,911
非支配株主に係る包括利益	39	228

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年4月1日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,698	7,539	43,458	△261	60,433
当期変動額					
剰余金の配当			△1,379		△1,379
親会社株主に帰属する当期純利益			4,285		4,285
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,906	△0	2,906
当期末残高	9,698	7,539	46,364	△261	63,340

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	616	1,916	606	3,139	2,429	66,002
当期変動額						
剰余金の配当						△1,379
親会社株主に帰属する当期純利益						4,285
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△334	△1,402	△480	△2,217	39	△2,178
当期変動額合計	△334	△1,402	△480	△2,217	39	728
当期末残高	281	514	125	921	2,468	66,730

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,698	7,539	46,364	△261	63,340
当期変動額					
剰余金の配当			△1,379		△1,379
親会社株主に帰属する当期純利益			7,119		7,119
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	5,740	△0	5,740
当期末残高	9,698	7,539	52,104	△261	69,080

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	281	514	125	921	2,468	66,730
当期変動額						
剰余金の配当						△1,379
親会社株主に帰属する当期純利益						7,119
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	404	1,738	650	2,792	228	3,020
当期変動額合計	404	1,738	650	2,792	228	8,760
当期末残高	685	2,252	776	3,714	2,696	75,491

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,437	9,665
減価償却費	5,430	5,280
固定資産除却損	145	51
減損損失	176	703
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△172	△153
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	228	100
受取利息及び受取配当金	△250	△133
補助金収入	△172	△290
支払利息	225	255
固定資産売却損益 (△は益)	△32	△34
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△47
売上債権の増減額 (△は増加)	3,166	△228
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,056	2,004
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,666	△1,321
その他	451	1,834
小計	12,910	17,688
利息及び配当金の受取額	251	130
補助金の受取額	143	290
利息の支払額	△228	△243
法人税等の支払額	△2,308	△1,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,767	16,251
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△3,880	△3,074
固定資産の売却による収入	42	34
投資有価証券の売却による収入	—	68
定期預金の増減額 (△は増加)	—	749
その他	0	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,838	△2,229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	962	△1,722
長期借入金の返済による支出	△5,000	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△147	△161
配当金の支払額	△1,378	△1,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,564	△3,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	126	229
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,491	10,987
現金及び現金同等物の期首残高	12,788	14,279
現金及び現金同等物の期末残高	14,279	25,266

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。

したがって、当社は事業部門を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「吸水性樹脂」「機能化学品」及び「ガス・エンジニアリング」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「吸水性樹脂」セグメントは、高吸水性樹脂の製造・販売を行っております。

「機能化学品」セグメントは、医薬製品、水溶性ポリマー、微粒子ポリマー、機能製品等の製造・販売を行っております。「ガス・エンジニアリング」セグメントは医療用ガス、ケミカルガス、標準ガス、エレクトロニクスガス、工業薬品の製造販売、酸素・窒素・水素等のガス発生装置（PSA方式）、一般化工機等の設計・製作・販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値である。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	吸水性 樹脂	機能 化学品	ガス・エンジ ニアリング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	65,894	17,814	15,322	99,030	670	99,701	—	99,701
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	76	77	836	914	△914	—
計	65,895	17,814	15,399	99,108	1,507	100,616	△914	99,701
セグメント利益又は損 失(△)	3,544	1,912	2,356	7,813	△49	7,763	12	7,775
セグメント資産	49,232	13,695	13,955	76,883	1,027	77,910	22,350	100,261
その他の項目								
減価償却費	3,440	889	872	5,202	19	5,221	209	5,430
減損損失	176	—	—	176	—	176	—	176
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	728	860	1,871	3,460	4	3,464	231	3,695

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業等を含んでおります。

- 2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 3 セグメント利益又は損失の合計額は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
- 4 セグメント資産の調整額は、主に各セグメントに配分していない当社の余資運用資金（現金及び預金等）、長期投資資金（投資有価証券）、繰延税金資産および研究開発にかかる資産等であります。
- 5 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に各セグメントに配分していない資産にかかる資本的支出であります。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	吸水性 樹脂	機能 化学品	ガス・エンジ ニアリング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	69,201	17,940	15,612	102,754	499	103,254	—	103,254
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	51	52	785	838	△838	—
計	69,202	17,940	15,664	102,806	1,285	104,092	△838	103,254
セグメント利益又は損 失(△)	5,837	2,037	2,276	10,151	△60	10,091	10	10,101
セグメント資産	48,368	11,730	14,226	74,325	1,883	76,209	31,625	107,834
その他の項目								
減価償却費	3,198	808	978	4,985	14	5,000	280	5,280
減損損失	—	703	—	703	—	703	—	703
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	361	320	1,161	1,843	102	1,946	744	2,691

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 セグメント資産の調整額は、主に各セグメントに配分していない当社の余資運用資金（現金及び預金等）、長期投資資金（投資有価証券）、繰延税金資産および研究開発にかかる資産等であります。

5 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に各セグメントに配分していない資産にかかる資本的支出であります。

4 報告セグメントの変更等に関する事項

当期より、経営管理方法の変更に伴い、従来「機能化学品」セグメントに含めていたセイカテクノサービス㈱を「その他」セグメントへ区分を変更しております。また、ガス製品の製造を終了し、機能化学品の製造へ向けた事業転換を進めている住精科技（揚州）有限公司についても、「ガス・エンジニアリング」セグメントから「その他」セグメントへ区分を変更しております。

なお、前期のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	4,659円35銭	5,278円02銭
1株当たり当期純利益金額	310円74銭	516円20銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,285	7,119
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	4,285	7,119
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,792	13,792

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	66,730	75,491
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	2,468	2,696
(うち非支配株主持分)(百万円)	(2,468)	(2,696)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	64,262	72,794
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通 株式の数(千株)	13,792	13,792

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他（役員等の異動のお知らせ）

代表取締役の異動および役員人事等については、本日別途公表しております（内容詳細は弊社HPをご覧ください）。

5. 2021年3月期 連結決算概要

2021年5月13日

住友精化株式会社

1. 連結業績

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前期比増減	2022年3月期 (予想)	前期比増減
売上高	99,701	103,254	3,552	109,000	5,745
営業利益	7,775	10,101	2,325	7,000	△ 3,101
経常利益	6,866	10,375	3,508	7,000	△ 3,375
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,285	7,119	2,833	5,000	△ 2,119
1株当たり当期純利益	310円74銭	516円20銭	205円46銭	362円53銭	△153円67銭
自己資本当期純利益率(ROE)	6.7%	10.4%	3.7%	6.7%	△3.7%
平均為替レート(円/\$)	108.75	106.07	—	110.00	—
平均為替レート(円/元)	15.60	15.67	—	16.50	—
ナフサ価格(円/KL)	42,900	31,300	—	47,000	—

2. セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

		2020年3月期	2021年3月期	前期比増減	2022年3月期 (予想)	前期比増減
吸水性樹脂	売上高	65,894	69,201	3,307	74,000	4,798
	営業利益	3,544	5,837	2,293	3,300	△ 2,537
機能化学品	売上高	17,814	17,940	126	17,500	△ 440
	営業利益	1,912	2,037	124	1,800	△ 237
ガス・エンジニアリング	売上高	15,322	15,612	290	17,000	1,387
	営業利益	2,356	2,276	△ 79	2,000	△ 276
その他	売上高	670	499	△ 170	500	0
	営業利益	△ 49	△ 60	△ 10	△ 100	△ 40
消去	売上高	—	—	—	—	—
	営業利益	12	10	△ 2	—	—
合計	売上高	99,701	103,254	3,552	109,000	5,745
	営業利益	7,775	10,101	2,325	7,000	△ 3,101

当期より、経営管理方法の変更に伴い、従来「機能化学品」に含めていたセイカテクノサービス(株)を「その他」へ区分を変更しております。また、ガス製品の製造を終了し、機能化学品の製造へ向けた事業転換を進めている住精科技(揚州)有限公司についても、「ガス・エンジニアリング」から「その他」へ区分を変更しております。なお、前期の情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。